

ネイチャー・ウォーク

平成 28 年 11 月号

2016. 11. 27 発行

(通巻第 275 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

「真田丸」ゆかいの地へ漕ぎ出す (後悔しないコース)

(JR 高崎線 鴻巣駅～北本駅)



30 名の参加がありました



いたるところにコウノトリ！残念ながら、本物ではありませんが…

今回のネイチャーウォークは鴻巣駅からのスタートでした。鴻巣は地名がコウノトリ伝説に由来するともいわれており、駅前にコウノトリの親子のモニュメントがお出迎えしていました。宿場町の面影を残す古い建物も残る町並みを歩きながら、最初の目的地、「鴻神社」へ向かいます。



コウノトリの伝説が残るといふ鴻神社



「真田丸」講座 in 勝願寺

さらに、歩みを進めると、荒川の「川幅日本一」の標識が見えてきました。迫力満点な看板のすぐ脇を降りると、農地が広がる荒川河川敷へと景色が変わります。



ほぼ全身の脱皮した皮がきれいに残っていました
財布に入れると良いことあるかも？



鴻巣こうのとりを育む会の事務局長より原馬室
湿地についてお話を伺います

鴻巣の町を歩き進めると「勝願寺」へ到着。今回のネイチャーウォークのタイトルにもなっている「真田丸」ゆかりの寺です。

真田信之の妻・小松姫のほか、石川五右衛門を捕えたことで有名な仙石秀久のお墓もあり、しばし歴史談義で盛り上がりました。



川幅日本一の標識

常勝寺で一休み。お寺の駐車場ではヘビの皮を発見。脱皮したての皮がほぼ全身分残っていたこともあり、驚きの声があがっていました。

当協会と鴻巣こうのとりを育む会によってコウノトリの餌場となるよう整備している原馬室湿地へ。鴻巣こうのとりを育む会の事務局長の宮川様より貴重なお話をお伺いすることができました。コウノトリが鴻巣の空を飛ぶことができるように、餌場となる湿地を作っているとのことのお話に、みなさん、興味津々で耳を傾けていました。

宮川様、本当に貴重なお話を有難うございました。



みんなでエソビタキを観察

お昼休憩中には枝先にとまるエソビタキを発見。「見てくれ、写真を撮ってくれ」と言わんばかりにじっとしている姿に、みなさん、食いつくように観察、写真撮影を行っていました。

お昼ごはんの後は、恒例の表彰式です。

今回は2名の方にWalk認定証が贈られました。おめでとうございます！



今回は2名の方にWalk認定証が贈られました



高尾さくら公園に向かう途中の農道沿いの田畑にキジの雄がいました。よく見るとその視線の先には雌が。最初にキジの雄に視線が集まっていたこともあり、つがいでいたのか。と驚きの声があがっていました。



道中に現れたキジ！！



コブクザクラは「子福桜」と書くこともあり、おめでたい名前ですね。



高尾さくら公園でのバードウォッチング
カルガモに交じって冬鳥のマガモの姿も見られました。

北本駅へ歩みを進める途中の休憩地点、高尾さくら公園では荒川河川敷を遠くまで一望できることもあり、素晴らしい景色の中を舞う鳥たちの姿を見ることができました。また、秋に咲くコブクザクラにも注目が集まりました。

今回のネイチャーウォークは鴻神社、勝願寺、常勝寺などの神社や寺を巡るだけでなく、随所で鳥や他の動植物の観察ができるなど歴史と自然を堪能できるコースとなりました。